

ズック ストラット

武蔵野美術大学×ルネこだいら 公開彫刻制作 & ワークショップ

武蔵野美術大学彫刻学科で木彫を学ぶ学生が、ルネこだいらで滞在制作を行います。
普段見ることが出来ない、彫刻制作の様子を覗いてみませんか？

8/16～8/21 (9:00～17:00)

三沢厚彦先生と学生による木片を使用した彫刻制作のワークショップを開催します。
8/19 (13:00～15:00)

亀元円
木村桃子
KimHyunWoo
棚田康司
趙訶俔
東嶋賢一
三沢厚彦
吉村清花

公開彫刻制作作品展
展示 2017/8/23～9/10
※休館日 8/29・9/5
ギャラリートーク及び鼎談
「今に生きる平櫛田中
—現代にどのように影響を与えたか—」
9/9 13:00～15:00
出演者
三沢厚彦 (武蔵野美術大学特任教授)
田中修二 (大分大学教授)※予定
藤井 明 (小平市平櫛田中彫刻美術館学芸員)
本展出品の武蔵野美術大学生
会場：小平市平櫛田中彫刻美術館 記念館
※アクセスは内面に記載

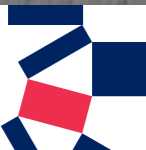
会期：8月16日～21日

開館時間：9:00～17:00 (随時制作)

会場：ルネこだいら展示室
〒187-0041 東京都小平市美園町1丁目8-5



文化
オリンピックアード



エムチゅうストラット

平櫛田中彫刻美術館。15年前、この美術館を初めて訪れた。そこには笠木を纏った、大きな樟の丸太が玄関の庭先に鎮座していた。そのあまりの大きさに驚いた記憶がある。

聞くところによると、平櫛田中、百歳の年に、その先二十年から三十年分の材料としてストックされたものだった。田中さんは百七歳で天寿を全うされるのではあるが、今、改めて、この大丸太を眺めていると、「後は君たちに、この大きな丸太を委ねた。」と、田中さんのメッセージが聴こえるような気がする。そう、この大きな丸太は平櫛田中の精神を象徴しているのである。実際に、この丸太を使うことは出来ないが、その委ねられた領域を、私たちが回答し発信していくべきなのであろう、と感じた。そして、その精神のかたちとは如何なるものなのか、、、。田中さんが晩年住われた、この美術館を舞台に、どの様に表現され展開されるのだろうか、今からすごく楽しみだ。

三沢厚彦



三沢厚彦（武蔵野美術大学特任教授）
 1961年京都生まれ
 1989年東京藝術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻修了
 2001年第20回平櫛田中賞を受賞
 2005年第15回タカシマヤ美術賞受賞
 2007年第34回長野市野外彫刻賞を受賞

三沢厚彦 Animal 2016-01（参考作品）
 樟に油彩 2016 162x120x180cm Photo by Ikuhiro Watanabe
 (c) MISAWA Atsuhiko Courtesy of Nishimura Gallery



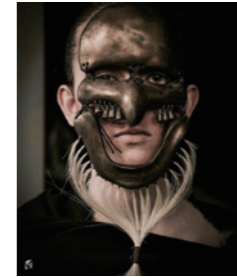
棚田康司（ゲスト作家）
 1968年兵庫県生まれ
 1993年東京造形大学造形学部美術学科II類（彫刻）卒業
 1995年東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了
 2005年「第8回岡本太郎記念現代芸術大賞」特別賞受賞
 2010年第20回タカシマヤ美術賞受賞

棚田康司 少年トルソ
 樟材に彩色 2011 36x20.5x11cm 撮影：宮島径
 (c) TANADA Koji Courtesy Mizuma Art Gallery

1



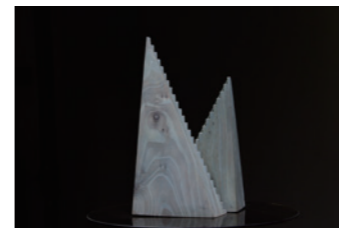
2



3



4



5



6

※上記の作品は出品作品とは限りません。

会期：8月23日～9月10日（休館日8月29日/9月5日）

開館時間：10:00～16:00（26日のみ20時まで）

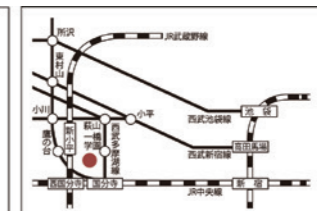
会場：小平市平櫛田中彫刻美術館 記念館
 〒187-0045 東京都小平市学園西町1-7-5

観覧料：一般300円（220円）

小中学生150円（110円）

※カッコ内は、団体20人以上です。

駐車場：当館には駐車場はありません。



※当館に駐車場はありません。近隣の飲食店「いろいろの里四季亭」(上水本町2-19-22)の駐車場を無料で利用できます。詳しくはお問い合わせください。

○西武多摩湖線「一橋学園駅」南口徒歩10分
 ○JR武蔵野線「新小平駅」タクシー5分
 ○JR・西武線「国分寺駅」タクシー5分

主催 小平市平櫛田中彫刻美術館 武蔵野美術大学彫刻学科研究室
 公益財団法人 小平市文化振興財団
 協力 西村画廊 ミヅマアートギャラリー